

【質疑応答】

《県立高等学校の統廃合について》

中国新聞 中国新聞の久保です。県立高校の統廃合の議論に関して質問です。今、統廃合の議論の対象となっている、湯来南と上下と西城紫水の来年度以降の在り方については、いつ頃の発表になる予定でしょうか。

教育長 現在のところ、次期計画及び3校の今後の在り方につきましては、事務局内で検討を進めているところでございます。ちょっと、いつというふうには今のところ申し上げられませんが、教育委員会といたしましては、中学校の進路決定に影響が出ないよう、できる限り早くお示しをさせていただきたいと考えております。

中国新聞 ちょっと関連してなんですけども、去年は公立高校の募集定員が9月9日の発表だったんですが、一般的な公立校の募集定員と同じタイミングで来年度の在り方計画も発表するような形になりますでしょうか。それとも、別のスケジュールですか。

沖本学校経営戦略推進課長 学校経営戦略推進課です。今、おっしゃられているのは、在り方計画〔についての御質問でしょうか。〕在り方計画につきましては、現行の計画が今年度までになっておりますから、今年度末までに策定を目指すというところでございます。3校の対応方針ということにつきましては、教育長も申し上げたように、現在検討中でございますけれども、従前よりお伝えしておりますが、例年9月に定員を公表しておりますので、それを一つの目途として、検討を進めて参りたいということでございます。

《生成AIの活用方針について》

N H K NHKの石田と言います。先日、文科省のほうから、夏休みの宿題とかに関しては、生成AIの活用についての暫定版の方針が出たと思うんですけど、生成AIに対して県の対応方針など、なにかありますでしょうか。

教育長 基本的にですね、文部科学省のガイドラインに示されていますけれども、生成AIにつきましては、個人情報流出、それから著作権侵害のリスク等の様々な懸念が指摘されておまして、学習場面での活用に当たりましては児童生徒の発達の段階を十分に考慮する必要があると考えております。一方、学習指導要領ではですね、情報活用能力が学習の基盤となる資質・能力と位置付けられておまして、情報技術を学習や日常生活に活用できるようにすることの重要性が示されております。そのため、新たな情報技術である生成AIをどのように学びに生かしていくかというふうな視点で、生徒が情報技術を使いこなすための力を意識的に育てていく姿勢が重要であると考えております。すでに、高校教育指導課の情報教育担当の方では、デジタルシティズンシップということで、もうこれ何年もですね。学校、研究校も指定しまして、研究をしております。使い方で、「これやっちゃ駄目」って言うだけではなくて、その中でどうやってこのデジタルシティズンシップを育てていくかというようなことを、研究校の実践とともに、県内の方でも様々考えていきたいと思っておりますけれども、技術の方が先に行ったりですね、あるいは企業さんが先に行くようなところがございますので、そういった進展を見ていながら、学校としても、あるいは教育委員会としても研究をし続けて参りたいと考えております。

N H K 具体的に、県としてのガイドラインとか、個別の学校について要望とか、利用の指針をまとめる予定などはないということですか。

教育長 文科省から示されたガイドラインを、令和5年7月6日付で各学校に通知したところでございますけれども、生成AIの学習場面での活用については、考え方を県教育委員会として整理をいたしまして、近日中に各県立学校へ周知する予定であります。ただ、いつというふうなことではございません。

《教員採用試験の日程について》

中国新聞 教員採用試験のことで質問です。文科省が教員採用試験を来年度から6月に前倒しするようなことを全国で進めるよう呼び掛けているんですけども、県教委としてそういう方針は今のところありますか。

教育長 今検討しております、具体的にはどうするっていうことも決まっておりませんが、早期化するというよりも、良い人にたくさん来てもらって、先生の魅力を発信するということも重要かと思っておりますので。そのあたりに鑑みて、決めていきたいと思っております。

山内教職員課課長代理 実務的なことで申しますと、まさしく大学関係者の皆さんと協議をするように用意しております、受験していただく学生さん方の御都合とかも踏まえて、皆さんにとって良い形になるように、関係者と協議を進めているところでございます。

教育長 教育実習等いろいろな問題が発生しますので、各大学、それから市町教育委員会の変更とか、いろいろあると思います。こういったことに鑑みて、早くやったから、この問題が解決するというふうには思いませんので、その辺りで、様々なところで検討していきたいと思っております。

中国新聞 先ほど、前倒しする事は、国としては民間との競争で、少しでも改善が見られるように、一案として打ち出されていると思うんですけど、教員志望の人が減っていくっていう中で、県教委として一番大事にしたい部分はどこでしょうか。

教育長 もちろん民間との競争もあるかと思いますが、人材不足というのは何も先生だけではなくていろんな業界で今言われていることだと思います。大事なことは、先生になりたいというような気持ちのある人を、採用していくことだと思っております。1ヶ月前倒しにしたから、じゃあ、民間との競争というのが改善できるかという、もう実は4年生になった時点で、テレビなんかでは、7割の学生さんが内定をもらっているっていう現実もありますので、そうではなくて「本当に先生になりたい」「本当に広島県の先生として働きたい」という学生さんをどうやって育てていくのかというふうには思っております。やはり教育は国の礎ですから、この辺りの考え方をきちんと示して、訴求していきたいと思っております。